

ふたかみ NEWS プチトマト



今年もなかまのみんなが楽しんでいた
プールの取り組みをしました。みんなの
かわいい笑顔もたくさん見られ、楽しい
時間を過ごせましたね！プールをお貸し
頂きました西浦小学校様、駒ヶ谷小学校様
本当にありがとうございました。（阪本）

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者：石本悦二 編集責任者：関口奈緒美



ふたかみ福祉会後援会主催

「チャリティーコンサート2026」

「楽しく歌おう！みんなでつくる、みんなのステージ」

◆2026年12月5日(土)

13:30会場/14:15開演

LIC はびきの サムテックホールM

(大阪府羽曳野市軽里1丁目1-1-1)

◆企画

なかまの合唱 全3曲

◆ゲスト

・浪速高等学校吹奏楽部

・手話サークル団体

Miracrew

@home

ZIGGY.B

事前
申込制



チケット申し込み

チケット

※全席自由

2,000円

※当日のチケット販売は
ありません。

賛同金のお願い

今回は記念すべき30回目となります。このコンサートで得た収益は、
法人の事業や地域福祉の向上に使用させていただきます。つきましては本
イベントの趣旨にご賛同いただき、賛同金のご協力をお願いいたします。
何卒、本企画にご理解いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。
(大竹)

【賛同協力料】①団体賛同金 … 1口 3,000円(何口でも可)
②個人賛同金 … 1口 1,000円(何口でも可)

ご質問等は下記にご連絡ください
ふたかみ福祉会後援会 072-957-4041
チャリティーコンサート・賛同金担当まで

申し込み受け
付けフォーム



cafe ハピバー

9月の予定

定休日 毎週水曜/日曜

休み 12日(土)、21日(月)、
22日(火) 24(木)

★Instagram★
[cafe-hapibar.com](https://www.instagram.com/cafe-hapibar)

【お問い合わせ先】072-958-3232

■後援会入会及び更新の方々（敬称略）

2026年7月

* 三宅渡/田中美希

..... 5口

* 竹田雅典/竹田由美子/桜樹木浩代/池田聡子/齋藤いづみ/藤よし子/桑原一章
伊東和子/若林茂美

..... 1口

■寄付

■アルミ缶回収(7月分) 536kg

ありがとうございます

◆2026年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口2,000円 団体会費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894

個人会費については6月の総会で、2025年度からの会費の改定をしています。

「自分を守るために必要な事？」

大阪障害者センターが主催する「性について考える 連続講座」がありました。

ハピボールでは若いなかまが増えてきました。男性と女性の距離が近い時があり、どうなかまたちに伝えたいのか悩んでいました。今回の研修で性教育を学び、適切な関わりを学ぶために参加しました。

3回の連続講座の第1回目の研修で、講師の先生より「性」という言葉にどんなイメージがありますか？と質問がありました。私は「大事なことだが伝えにくい内容」と正直に答えました。他の参加者からは「話題にしにくい」や「伝えるのが恥ずかしい事」など様々な意見が出ました。その中で一人の参加者の方が「自分を守るために必要な事」と答えていたのを聞いて、とても大切な視点だと感じました。各施設の悩み事を話す時間では施設で「男子中学生が女性職員の胸を触ろうとする」利用者の話があり、そのことについて参加者同士で意見交流を行いました。「辞めてください」とはっ

きりと伝える事やその場から離れるなどの対応を取ることで、本人と職員との関わる時間を増やして不快な関わりから快の関わりを覚えてもらうことが重要だとお聞きしました。年齢や体格ではなく発達の内容を理解しながら支援を進めていくことが大切であることも学ぶことができました。

第2回目ではなぜ性教育をおこなうのか、発達に応じた性教育を中心に学びました。なぜ性教育をおこなうのか？命の誕生について学び、自分が大切な存在であることに気づく。自分のからだ、異性のからだについて知る。幸せに生きるために学ぶなどが挙げられました。性教育を学ぶことによって自己肯定感を育むことが出来ることと教わりました。問題が起きた時に加害者になった人が性教育を丁寧に加わる機会がなかった場合、職員である私たちの責任でもあります。問題を未然に防ぐためにも性教育が大切になることを改めて学ぶことができました。

第3回目では「性の学びについて」基礎的な知識について

学びました。「多様性」の話や「からだの権利」「男性女性のからだについて」「命の誕生」など複数の内容を基に話が進みました。からだの権利のお話では国際セクシュアリティ教育ガイダンスの内容を基に、今までの「水着で隠す場所と口はプライベートゾーン」という教育ではなく「誰もが、自分のからだに誰が、どこに、どのように触れることが出来るのかを決める権利を持っています」ことが書かれています。時と場合を教えることがとても大切ですが、自分の事を自分で決めることが大切なことを再度学ぶことが出来ました。

7月11日、なかまが歌うのは実に7年ぶりとなる、チャリティーコンサートに向けた歌の練習が行われました。

ピアノの音声が流れると、自然とメロディーを口ずさむなかま。身体を揺らしてリズムをとるなかま。なかまの歌声が響き、心が揺さぶられました。みんなの想いを歌声にのせて、たくさんの人に届けましょう！（麻野）



「チャリティーコンサートに向けて」

「あたりまえに働き、えらべる暮らしを」

7月16日大阪府社会福祉会館にて2026年度きょうされん賛助会員拡大に向けての学習会が行われました。今年はきょうされん常任理事 塩田千恵子氏が話をしてくださいました。

初めにきょうされんの49年間のあゆみを振り返りました。1977

年共同作業所全国連絡会が結成されました。16か所の共同作業所から始まり「働こう障害者も働けるんだわしたちも」と障害がある人も働けるとの思いで立ち上がり、現在は全国で約1800の施設が加盟している大きな組織となりました。「励まし合う」「まとまってものを言う」を大きな役割として、たくさん国に声をあげ、その運動を通じて制度を変え、地域を変えてきました。なぜ賛助会員拡大が必要なのか？「きょうされんを知っている人を増やすII障害のある人の実態を知っている人を増やす」ことになりました。みなさんに賛助会員になってもらいたい色んな実態を知ってもらいたいとの願いもあります。月刊誌の

「TOMO」はまさにその実態がたくさん記されています。そして運動を続けていくにはお金が必要です。みんなから少しずつ集めたお金を元に運動しているからこそ地域に伝わっていくのだとおっしゃっていました。

後半はグループワークを行いました。それぞれの事業所でどのように賛助会員を集めているのか？の質問に数名の方がどの「なんて声をかけたらいいかわからない。」と答えていました。簡単な様で難しいことですね、とみんなで話した中で、「誰でも不安や恥ずかしさがあるけれど今日学んだことを少しでも伝えることが出来たらそれだけでも運動に繋がるよね。」と笑顔になった時間でした。私たち職員は日々実践に追われている状況です。しかし、目の前の実践より大きな枠で見た時に、「運動」がいかに大切かを今後もみんなと一緒に共有し、学んで行きたいと思います。（大西）

はびきの園

～ボーナスの取り組み～

アクト班

ボーナスが支給された翌月8月初旬、なかまの希望の多かった焼肉食べ放題のランチに出かけました。お菓子を景品としてビンゴゲームも実施して、大満足の日でした。（東）



ソレイユ班

ラーメンや唐揚げを食べて満腹。ポテトフライも食べたかったけど…残念。でもカラオケ歌えて気分上々♪アイスでクールダウン❄️思い出がまた一ページ増えました📖（山田）



製菓班

夏ボーナスの取り組みを実施しました。各自お好みのお弁当や特別なスイーツを味わった後、賑やかにカラオケへ。手拍子やダンスで大盛り上がりの中、事前準備した好きな曲を気持ちよく歌い、笑顔溢れる一日となりました。（安座間）

